

**避難所の受入体制**

録画配信 

つぶやき  
他事例を検証しフル加速で進めることが重要

みらいの会  
ふるや  
**古屋 としみつ** 議員

**Q** 障がいのある方々の避難体制は

**A** 受け入れ体制を整えているところ

**議員** 障がいのある方のご家族から避難所の体制について、「心配している」との声がある。災害時の障がい者の受け入れ体制の整備は。

**危機管理監** 要配慮者用スペースを設けるなどの配慮を行い、受け入れ体制を整えているところである。

**議員** ペットの避難について同行ではなく、同伴避難を希望するご家族も多い。能登半島地震など、他自治体の災害避難事例にもあるように、さまざまな理由でテント泊、車中泊の避難を余儀なくされている。本市では、テント泊や車中泊の避難想定はあるか。

**危機管理監** テントを張ったり、車両を駐車したりするスペースは設けていない。今後は、国の指針を参考に、対応を検討する。



荒川親水公園にて（撮影：とだキャンプ協議会）

**その他の質問**

**Q** 笹目川遊歩道の樹木の管理は毎年同じ指摘を受けてから対応するのではなく、計画的な管理体制を整えることが重要では。

**A** 今年度は例年よりも早い5月末に選定、除草を実施した。今後も、実施時期を工夫しながら適切な維持管理に努める。

**本町青少年の広場**

録画配信 

つぶやき  
子供達が安心して遊べる広場の整備を

日本共産党戸田市議団  
ほんだてつ  
**本田 哲** 議員

**Q** 水たまり部分の修繕をすぐに実施すべき

**A** 本年度中に舗装修繕を実施する

**議員** 降雨後、広場全体に水たまりができています。令和3年度に舗装修繕を実施してから数年たっている。水たまり部分の修繕をすぐに実施すべきではないか。

**こども健やか部長** 降雨後に水たまりができやすい箇所があるので、本年度中に舗装修繕を実施する。



本町青少年の広場

**Q** 歩道上に設置されている車止めの撤去を

**A** 早急に車止めを撤去する予定はない

**議員** 本町4丁目、戸田南小学校東側の子ども達の通学路にもなっている歩道を車いすで通行していた市民からバリアフリー化を進めることも含め、歩道上に設置されている車止めの撤去を求めている。撤去について検討すべきと考えるが、市の見解は。

**都市整備部長** 現地に於て、歩道上で車いす使用者が通行できる幅があることを確認しており、早急にすべての車止めを撤去する予定はない。なお、点字ブロック近くに設置されている車止めは、できる限り速やかに撤去する。

**議員** 車止めの高さが低く、夜間は視認しづらい。夜間対策として反射テープなどを設置できないか。

**都市整備部長** 道路照明灯により、夜間においても車止めを認識できるが、更なる安全対策として設置する。

**高齢者の肺炎予防**

録画配信 

つぶやき  
「人生100年時代」を最後まで健康に!

戸田の会  
さかい いくろう  
**酒井 郁郎** 議員

**Q** 肺炎予防に取り組み、健康寿命の延伸を

**A** ホームページや地域の集まりで周知する

**議員** 肺炎・誤嚥性肺炎は、脳血管病を抜かして死因の第3位となっている。高齢者の場合、免疫力の低下から肺炎などの感染症にかかりやすく、重症化し亡くなることもある。退院しても体力が低下し介護が必要になるケースも多い。気が付かないうちに重症化し、時には、呼吸ができない非常に苦しい死に方になることもある。肺炎による医療介護費用などの損失は、本市だけで少なくとも年間60億円以上と推定される。現在、肺炎防止のためにかけている予算よりも、相当大きな損失が出ていることから、高齢者の肺炎防止に十分な費用をかけて取り組むべきだ。肺炎の多くはワクチンで防ぐことができることから、目標設定を行い、接種率アップを明確な課題として取り組んでは。また、ワクチンの無料化や接種対象の拡大だけではなく、感染予防のための啓発活動の強化など総合的な取り組みにより、肺炎を防止しては。

**健康福祉部長** 国の制度のとおり進める。接種率の目標設定は難しい。基礎疾患のある方や介護施設利用者も含め、ホームページなどで、肺炎全般についての注意喚起を行う。保健師が地域の集まりに出向いたときに、肺炎の話も盛り込むなどの周知を図る。



**健康寿命下位脱却**

録画配信 

つぶやき  
戸田(61位)と和光(3位)、何が違う?

戸田の会  
やざわ はるか  
**矢澤 青河** 議員

**Q** 一般企業と連携した健康増進の周知啓発を

**A** 現役世代など多くの方への周知を検討する

**議員** 和光市の健康寿命は県内上位に対し、本市は長年ワースト下位であるが。

**健康福祉部長** 60歳未満の6割は運動習慣がなく、若い世代や健康無関心層への啓発が重要。

**議員** 市の保有するレセプトなどの健康情報は主に国保で、人口の17.4%。社会保険加入者など多くの現役世代の実態を把握できず、アプローチ手段も持たない。和光市では健康計画の策定時、匿名レセプトを用いて市民の健康分析を行ったが、本市でも活用できないか。

**健康福祉部長** 匿名レセプトは全レセプトの90%以上の情報があるが、利用しやすい形式ではなく国の審査も必要なため、今後研究する。

**議員** 退職後、社会進出が困難な方も多い。早いうちから居場所や運動習慣への支援が必要だが、市の案内では、健康無関心層の行動変容につながらない。会社から社員への案内、健康経営企業への支援など、一般企業などと連携した周知啓発を。

**健康福祉部長** 昨年度、市内事業者へがん防災本や講座の案内を実施した。大学生考案の弁当販売などさまざまな包括連携を行った。民間事業者の協力も得ながら現役世代などへ周知啓発を図る。

	戸田市	蕨市	朝霞市	和光市
人口(人)	141,887	73,916	142,369	83,744
面積(km <sup>2</sup> )	18.2	5.1	18.3	11.0
平均年齢(歳)	42.0/63位	45.7/54位	43.7/61位	42.6/62位
平均寿命(年)	男 80.9/52位 女 87.3/23位	男 80.9/52位 女 87.4/15位	男 81.6/19位 女 87.5/10位	男 82.1/01位 女 87.9/02位
健康寿命(年)	男 16.9/61位 女 20.1/60位	男 17.5/54位 女 21.3/03位	男 18.1/20位 女 20.8/28位	男 18.6/03位 女 21.4/02位
要介護認定率	16.0/19位	17.6/05位	16.8/08位	11.4/60位
生活保護率	1.6/05位	2.0/01位	1.3/16位	0.9/48位
病床数(10万人対)	1057/23位	318/50位	490/44位	1582/10位
医師数(10万人対)	187/14位	93/38位	146/28位	312/04位

近隣の類似自治体との比較